

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2025年度 パフォーマンス向上会議情報(2025年8月25日(月)分)

◆「不適合」とは、法律等で報告が義務づけられているトラブルや、設備の点検で見つかる機器の故障など、発電所の設備や業務の安全性及び信頼性の確保に必要な要求事項を満たしていない状態をいいます。当発電所では、社内の会議体(パフォーマンス向上会議)において「不適合」と判定したすべての事案を本ホームページで公表しています。

2025年8月25日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【1号機原子炉格納容器ガス管理設備の希ガス放射線モニタ(B)の不具合について】 当社運転員が、8月20日、免震重要棟集中監視室において、「核種分析装置盤(B)機器異常」の警報が発生し、1号機原子炉格納容器ガス管理設備の希ガス放射線モニタ(B)系が監視ができないことを確認。 現場確認の結果、原因は希ガス放射線モニタ(B)の検出器に不具合が生じたものと推定。 その後、希ガス放射線モニタ(B)の検出器の交換を実施し、希ガス放射線モニタ(B)系の指示が通常状態に復帰したことから、希ガス放射線モニタ(B)系は監視可能と判断。 8月24日、免震重要棟集中監視室において、再度「核種分析装置盤(B)機器異常」の警報が発生し、1号機原子炉格納容器ガス管理設備の希ガス放射線モニタ(B)系が監視ができないことを確認。 現場確認の結果、原因は希ガス放射線モニタ(B)のマルチチャンネルアナライザー※に不具合が生じたものと推定。 その後、希ガス放射線モニタ(B)のマルチチャンネルアナライザーの交換を実施し、希ガス放射線モニタ(B)系の指示が通常状態に復帰したことから、希ガス放射線モニタ(B)系は監視可能と判断。 なお、1号機原子炉格納容器ガス管理設備の希ガスの監視は、希ガス放射線モニタ(A)系で監視が可能のため影響なし。 今後、原因調査及び対応を検討する。</p> <p>※放射線のエネルギー分布を分析するもの</p>	GⅢ	8月20日
2	<p>【電離放射線健康診断未実施者の発生について】 当社社員が、他発電所で発生した電離放射線健康診断未実施者の発生について、福島第一原子力発電所において同様の事案が発生していないか状況を確認したところ未実施者が1名いることを確認。 富岡労働基準監督署へ未実施者発生について報告予定。 今後、原因調査及び対応を検討する。</p>	GⅢ	8月20日